

保健環境委員の概要（令和5年度版）

保健環境委員の主な職務

- ① 地域と市区行政のパイプ役として、公衆衛生に関する市・区からの情報を地域の方にお知らせしたり地域からのご意見・ご要望を市や区へ伝えたりします。
(例)「蚊の防除」ポスターの掲示 など
- ② 浸水時の浸水家屋に対する消毒薬剤の配付、健康づくり事業の協力など保健所（保健センター）業務及び、ごみ、資源収集における適正排出指導、ごみ不法投棄の通報、相談など環境事業所業務への援助、協力や、環境デーなごや、全市一斉クリーンキャンペーンなど各種事業への参画をします。
※具体的には、別紙「保健環境委員の活動内容について」参照
- ③ 学区内の保健環境委員が集まって、学区保健環境委員会を定例的に開催します。代表である学区会長から市・区の情報を受けたり、地域の意見・要望を集約したりします。

(参考)

名古屋市保健環境委員規則

第4条 保健環境委員は、地区衛生活動の中心となり公衆衛生を増進するため、次の職務を行う。

- (1) 保健所業務、環境事業所業務その他の公衆衛生事業への援助及び協力
- (2) 公衆衛生思想の普及徹底
- (3) その他公衆衛生に関して必要な事項

保健環境委員の選出等


| | |
|------|---|
| 選出方法 | 町内会・自治会から、決められた定数人員の方を学区会長を通じて区長に推薦します。区長は、市長に推薦し、市長が委嘱します。 |
| 身分 | 非常勤特別職の地方公務員となります。 |
| 任期 | 令和6年4月1日から令和8年3月31日までの2年間です。 (途中交代する場合は、前任者の残任期間となります。) 新任委員は、委嘱時に原則20歳以上70歳未満であることとなっております。ただし、適任者がいない場合は、緩和措置として区会長の理由書を添付していただくことで75歳未満までの方に委員になっていただけます。 再任委員は、80歳未満の方には、引き続き委員になっていただけます。 |
| 費用弁償 | 委員の活動に対する費用弁償として、月額2,509円を支給します。 |

保健環境委員の活動内容について


| 保健環境委員の 目的と役割 | 区 分 | 職 務 の 内 容 |
|--|---------------|--|
| <p>保健環境委員は、本市の公衆衛生を向上増進し、地区衛生活動の進展を図るために置かれ、地区住民と行政とのパイプ役として、また、地区衛生活動の中心として次の職務を行う。</p> <p>①保健所業務、環境事業所業務その他の公衆衛生事業への援助及び協力</p> | 保健所業務 関係 | <p>①浸水時の消毒薬剤の配布 浸水家屋に対する消毒薬剤配布</p> <p>②犬の登録と予防注射の手伝い 集合注射会場の手伝い、登録・予防注射の周知及び犬猫の適正飼養等</p> <p>③感染症、食中毒予防等 主に広報活動</p> <p>④ネズミ、ゴキブリ防除等 防除等の事業の広報</p> <p>⑤健康づくり事業への協力 住民への周知、講習会への協力（フレイル予防）</p> <p>⑥献血推進活動への援助・協力 献血グループの結成促進、献血推進への援助、協力</p> <p>⑦予防接種事業への協力 事業の周知、協力</p> <p>⑧その他事業への協力 各種講習会、調査への協力</p> <p>⑨その他広報活動への協力 チラシ、ポスター等の回覧、掲示</p> |
| <p>②公衆衛生思想の普及徹底</p> <p>③その他、公衆衛生に関し必要な事項</p> | 環境事業所 業務関係 | <p>①資源・ごみ収集における適正排出指導 日時・集積場所の周知、分別指導</p> <p>②ごみ不法投棄の通報、相談 環境事業所への連絡、案内</p> <p>③その他広報活動への協力 分別区分変更等に伴う広報、年末年始収集日の周知</p> |
| (名古屋市保健環境委員規則第4条) | その他 | ①環境保全活動への協力 環境デーなごや、全市一斉クリーンキャンペーン等各種行事への参画など |

SDGs 理念の実現


<特に関係がある目標>




3 すべての人に健康と福祉を




7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに




11 住み続けられるまちづくりを




12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう


いずれの保健環境委員活動も、SDGsの理念に繋がっています

保健環境委員の活動内容について


| 保健環境委員の 目的と役割 | 区 分 | 職 務 の 内 容 |
|--|---------------|--|
| <p>保健環境委員は、本市の公衆衛生を向上増進し、地区衛生活動の進展を図るために置かれ、地区住民と行政とのパイプ役として、また、地区衛生活動の中心として次の職務を行う。</p> <p>①保健所業務、環境事業所業務その他の公衆衛生事業への援助及び協力</p> | 保健所業務 関係 | <p>①浸水時の消毒薬剤の配布 浸水家屋に対する消毒薬剤配布</p> <p>②犬の登録と予防注射の手伝い 集合注射会場の手伝い、登録・予防注射の周知及び犬猫の適正飼養等</p> <p>③感染症、食中毒予防等 主に広報活動</p> <p>④ネズミ、ゴキブリ防除等 防除等の事業の広報</p> <p>⑤健康づくり事業への協力 住民への周知、講習会への協力（フレイル予防）</p> <p>⑥献血推進活動への援助・協力 献血グループの結成促進、献血推進への援助、協力</p> <p>⑦予防接種事業への協力 事業の周知、協力</p> <p>⑧その他事業への協力 各種講習会、調査への協力</p> <p>⑨その他広報活動への協力 チラシ、ポスター等の回覧、掲示</p> |
| <p>②公衆衛生思想の普及徹底</p> <p>③その他、公衆衛生に関し必要な事項</p> | 環境事業所 業務関係 | <p>①資源・ごみ収集における適正排出指導 日時・集積場所の周知、分別指導</p> <p>②ごみ不法投棄の通報、相談 環境事業所への連絡、案内</p> <p>③その他広報活動への協力 分別区分変更等に伴う広報、年末年始収集日の周知</p> |
| (名古屋市保健環境委員規則第4条) | その他 | ①環境保全活動への協力 環境デーなごや、全市一斉クリーンキャンペーン等各種行事への参画など |

SDGs 理念の実現


<特に関係がある目標>




3 すべての人に健康と福祉を




7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに




11 住み続けられるまちづくりを




12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう

いずれの保健環境委員活動も、SDGsの理念に繋がっています